

健康危機管理幹事会各課の取組報告・計画

	ページ番号
1. 政策局 危機管理課	2
2. 環境局 環境総合センター	3
3. 農水局 農業支援課	4
4. 消防局 救急課	5
5. 上下水道局 総務課・水運用課	5
6. 教育委員会事務局 健康教育課	6
7. 健康福祉局 健康福祉政策課	6
8. 健康福祉局 動物愛護センター*	7
9. 健康福祉局 生活衛生課*	8
10. 健康福祉局 食品保健課*	9
11. 健康福祉局 感染症予防課*	10
12. 健康福祉局 医療対策課*	11
13. 健康福祉局 健康危機管理課*	12

*の課は連絡会議当日に説明を行う

政策局 危機管理課	
1 令和5年度の実績	
【健康危機管理事象に関する対応件数】 ・ 令和5年度 新型コロナウイルス感染症 対策対応	【健康危機管理の取組】 ◎研修 令和5年度避難所担当職員研修の中 で、避難所における新型コロナウイルス 感染症及びその他感染症に関して、 感染防止対策に係る内容を実施
2 令和6年度の計画・取組	
【健康危機管理の取組】 ◎研修 令和6年度避難所担当職員研修の中で、避難所における新型コロナウイルス感染症 及びその他感染症に関して、感染防止対策に係る内容を実施	

環境局 環境総合センター

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

- ・市民所有の飲用井戸における有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）の検査実施
369 検体の検査を実施
- ・図書館の返却ボックス内に投函された白い粉の検査実施
炭疽菌を想定し検査実施
検査結果は小麦粉
- ・田んぼに析出した白い物質調査
検査結果は炭酸カルシウム

【健康危機管理の取組】

◎研修

- ・消防局と合同でテロ等危機管理事案対応などに関する研修会を実施した。

◎訓練

- ・防護服脱着訓練を実施した。
- ・炭疽菌におけるテロ発生時の場合の検査分析の流れの確認作業を実施した。
- ・九州ブロックの地方衛生研究所で健康危機発生事案を想定した毒物性物質の特定・定量検査を行った。

◎市民や関係機関への広報等 無

◎その他

- ・消防局のテロ対策訓練を見学した。

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎研修

- ・国立感染症研究所等が行う新興再興感染症技術研修への参加
- ・地方衛生研究所全国協議会九州ブロックの健康危機発生事案を想定した毒物性物質の特定・定量検査研修への参加
- ・環境測定分析統一精度管理結果説明会研修への参加
- ・消防局と合同でテロ等危機管理事案対応などに関する研修会の実施

◎訓練

- ・新興再興感染症に対する検査対応初動訓練の実施
- ・防護服脱着訓練の実施

◎市民や関係機関への広報等

- ・無

◎その他

- ・消防署・県警・科学捜査研究所等の関係部署とのテロ時の連携確認。

農水局 農業支援課

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

- ・鳥インフルエンザの国内発生に伴い、市危機管理体制を監視体制に移行、市鳥インフルエンザ関係課会議設置（11/27～5/27）
- ・鳥インフルエンザ発生状況に応じた庁内周知（全庁掲示板掲載等）
- ※市域及び近隣自治体での発生なし（家きん）

【健康危機管理の取組】

・家畜伝染病対応関連

◎研修

庁内連絡会議、農水局対策班会議、
 縣市連携会議（発生時の対応確認及び
 情報共有）

◎訓練

県防疫演習参加

◎市民や関係機関への広報等

畜産農家への情報提供

◎その他

緊急連絡網・一般応援要員名簿の整備、
 対応マニュアルの改正等
 全庁掲示板等による庁内関係部署への
 情報提供（発生状況・発生時の対応等）

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎研修

鳥インフルエンザ発生に備えた各種会議開催・出席

- ・庁内連絡会議（5月・11月） ・農水局対策班会議（9月）
- ・縣市連携会議（10月） 他

◎訓練

- ・県防疫演習（10・11月）

◎市民や関係機関への広報等

- ・市内発生時における市ホームページ等による情報提供

◎その他

- ・対応マニュアル改正（12月）
- ・緊急連絡網、一般動員名簿整備（7月）

消防局 救急課

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

- ・ 感染症患者搬送
- ・ 熱中症患者搬送

【健康危機管理の取組】

◎研修

局内職員向け感染症対策研修会

◎市民や関係機関への広報等

熱中症予防啓発（市政だより・SNS
広報・報道対応）

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎市民や関係機関への広報等

熱中症予防啓発（市政だより・SNS 広報・報道対応）

上下水道局 総務課・水運用課

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

- ・ なし

【健康危機管理の取組】

◎研修

- ・ 局内での災害対応研修（貯水機能付給水管・給水車の操作研修）
- ・ 課内での給水車操作研修

◎訓練

- ・ 上水道防災訓練（応急給水等）

◎市民や関係機関への広報等

- ・ 水質検査計画及び検査結果を上下水道局ホームページに掲載
（水道法に規定されている水質検査の結果等を公表）

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎研修

- ・ 局内での災害対応研修（貯水機能付給水管・給水車の操作研修）

◎訓練

- ・ 上水道防災訓練（応急給水等）

◎市民や関係機関への広報等

- ・ 「上水道防災訓練の実施状況」や「水質検査計画及び検査結果」を上下水道局ホームページに掲載
（水道法に規定されている水質検査の結果等を公表）

教育委員会事務局 健康教育課	
1 令和5年度の実績	
【健康危機管理事象に関する対応件数】 ・学校給食での食中毒：0件 ・学校給食での食物アレルギー事故：4件 （いずれも健康被害はない）	【健康危機管理の取組】 ◎研修 【食中毒】 学校給食での食中毒防止について、会計年度任用職員研修（4月）、学校給食関係者研修（7月）、給食連絡会（毎月）、新規採用給食栄養士・栄養教諭・学校栄養職員研修において研修を実施。 【食物アレルギー】 学校における食物アレルギー対応について、校長園長会（4月）において連絡及び、食育担当者研修（6月）、学校給食関係者研修（7月）、給食連絡会（毎月）、新規採用給食栄養士・栄養教諭・学校栄養職員研修、養護教諭研修（8月）において研修を実施。
2 令和6年度の計画・取組	
【健康危機管理の取組】 ◎研修 【食中毒】 学校給食での食中毒防止について、会計年度任用職員研修（4月）、学校給食関係者研修（7月）、給食連絡会（毎月）、新規採用給食栄養士・栄養教諭・学校栄養職員研修において研修を実施する。 【食物アレルギー】 学校における食物アレルギー対応について、校長園長会（4月・11月）において連絡及び、食育担当者研修（6月）、学校給食関係者研修（7月）、給食連絡会（毎月）、新規採用給食栄養士・栄養教諭・学校栄養職員研修、養護教諭研修会（8月）において研修を実施する。 また、公益財団法人日本学校保健会によるアレルギー講習会（学校における普及啓発講習会）への後援及び実践発表。	

健康福祉局 健康福祉政策課	
1 令和5年度の実績	
【健康危機管理事象に関する対応件数】 該当なし	【健康危機管理の取組】 該当なし
2 令和6年度の計画・取組	
【健康危機管理の取組】 該当なし	

健康福祉局 動物愛護センター

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】 愛護動物の動物由来感染症予防・対策 対応件数 0件 (参考) ・熊本市西区で死亡していた野鳥(カラス)において高病原性鳥インフルエンザが確認され、熊本市内の一部が野鳥監視重点区域に指定された。 ・これに伴い、県が、衰弱・死亡している野鳥等がいらないかの確認や死亡野鳥の情報収集、死亡個体等を発見した場合の死亡野鳥等調査を実施。 ・市動物愛護センターは、鳥類を取り扱っている動物取扱業者に対し、電話及び文書での注意喚起を実施。また、市ホームページにて、鳥を飼養している市民向けに情報提供した。	【健康危機管理の取組】 ◎研修 ・10/3、10/25 熊本県主催の鳥インフルエンザ検査技術研修に参加 ◎訓練 実施なし ◎市民や関係機関への広報等 ・9/23 動物愛護週間イベントにて動物由来感染症に関するポスターを掲示 ・野鳥における鳥インフルエンザ対応レベルや死亡鳥を見つけたときの対応について市ホームページで周知 ◎その他 なし
---	--

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】 ◎研修 ・熊本県主催の鳥インフルエンザ検査技術研修に参加予定 ・動物愛護センター担当職員へ鳥インフルエンザ検査研修を実施予定 ◎訓練 ・予定なし ◎市民や関係機関への広報等 ・野鳥における鳥インフルエンザ対応レベルや死亡鳥を見つけたときの対応について市ホームページで周知 ◎その他 ・動物愛護センターにおける対応マニュアルの整備
--

健康福祉局 生活衛生課

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

- ① 健康危機管理事象に関する害虫等の相談対応件数（生活衛生課分のみ）

	R5 年度（件）
マダニ	1
セアカ・ハイイロ ゴケグモ （疑いを含む）	13
スズメバチ	38

- ② 県レジオネラ防止症条例施設の立入件数

R5 年度 7 件

【健康危機管理の取組】

◎研修

- ・ねずみ・衛生害虫駆除技術者研修会、バストコントロールフォーラムへ参加。

◎市民や関係機関への広報等

- ・市政だより、市政ラジオ（おはよう熊本市、フレッシュ・フラッシュ）、森都医報、市ホームページにより広報。

◎その他

- ・身近な害虫（ハチ等）について出前講座を実施（1 回、55 人参加）。
- ・レジオネラ条例対象施設へ採水検査を実施（R5 年度 28 施設）

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎研修

- ・防除技術研修会・感染症対策講習会、バストロジー実習講座へ参加。

◎市民や関係機関への広報等

- ・市政だより、市政ラジオ（おはよう熊本市、フレッシュ・フラッシュ）、森都医報、市ホームページにより広報。
- ・出前講座の実施。
- ・浴場施設を有する事業者等を対象に外部から専門講師を招いてレジオネラ症防止対策講演会の開催。

◎その他

- ・レジオネラ条例対象施設へ採水検査の実施。

健康福祉局 食品保健課

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

・令和5年熊本市食中毒発生状況 2件2人

	発生日	原因施設	患者数	死者数	原因食品	病因物質
1	8/27	飲食店	1	0	不明 (8/27飲食店提供食)	アニサキス
2	9/17	家庭	1	0	鮭の刺身	アニサキス

・イベントに伴う食品の安全確保

イベント等の情報収集を行い、事前に衛生教育、衛生状況の確認や監視指導を行った。

・江津湖花火大会

・熊本城マラソン大会

・食品等に関する相談への対応 346件

市民、食品等事業者等から届出のあった食品等に関する苦情相談に対し、迅速に事実確認をし、原因究明の調査、検査、改善指導などを実施して再発防止に努めた。

【健康危機管理の取組】

◎研修

・新任食品衛生監視員課内研修 7回

・大規模食中毒調査に関する課内研修 1回

◎訓練

◎市民や関係機関への広報等

・広報

市政だより 5回

広報番組（テレビ、ラジオ） 7回

会報誌 2回

食中毒注意報発令など随時ホームページに情報提供を行う。バザー等における食中毒予防啓発動画を掲載し、衛生管理について啓発している。

◎その他

・立入調査実施件数

営業施設 6,387施設、

給食施設 131施設

・収去検査 182検体

・夏期及び年末食品一斉取締り

監視指導及び食中毒予防啓発チラシ

配布 1,634施設

・田崎市場への監視指導

早朝監視 16回、夏期食品一斉取締り

1回、年末食品一斉取締り 1回

・衛生教育実施数 496件 3,325名

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎研修 ・新任食品衛生監視員課内研修 6回

・大規模食中毒調査に関する課内研修 1回

◎訓練 なし

◎市民や関係機関への広報等

・食中毒発生時の報道発表（発生時）

・食の安全安心に関する情報のHP掲載（随時）

・熊本市食品安全情報ネットワークを活用した食品の検査や苦情等に関する情報提供（月1回以上）

・市政だよりやラジオ等を活用した食中毒予防啓発

◎その他

・営業施設への監視指導 ・収去検査 ・田崎市場への監視指導

・衛生教育実施 ・食中毒予防啓発 ・イベントに伴う食品の安全確保 等

健康福祉局 感染症予防課

1 令和5年度の実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

・感染症発生時対応、H I V・性感染症対応、予防接種業務（新型コロナワクチンを含む）、予防接種による健康被害

・1 類～5 類感染症に係る対応（情報収集、発生届受理、国報告、積極的疫学調査、接触者調査、就業制限、感染症審査協議会等）

・感染症発生届受理数（暦年）

分類 \ 年		R3	R4	R5
1 類		0	0	0
2 類	(結核、新型コロナを除く)	0	0	0
3 類		18	16	20
4 類		32	33	35
主な4 類 感染症 (再掲)	レジオネラ症	19	21	19
	SFTS	3	2	2
	日本紅斑熱	5	7	6
	日本脳炎	0	1	1
	ボツリヌス症	3	0	0
5 類	(全数把握のみ)	161	199	260

【健康危機管理の取組】

◎研修

新型インフルエンザ等対策研修会
保健所職員対象 (3 月)

◎市民や関係機関への広報等

市ホームページやSNSによる情報提供

◎その他

- ・感染症予防について出前講座
6 回、121 人参加
- ・エイズ、性感染症について出前講座
3 回、454 人参加

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎研修

各種研修会への参加

◎訓練

各種訓練への参加

◎市民や関係機関への広報等

市ホームページやSNSによる情報提供

健康福祉局 医療対策課（毒劇物管理関係）

1 令和5年度までの実績

【健康危機管理事象に関する対応件数】

●立入検査実施店舗数

<薬局・医薬品販売業>

	薬局	店舗販売業	合計
令和5年度	101	62	163
令和4年度	30	21	51
令和3年度	46	39	85

<毒物・劇物販売業、毒物劇物業務上取扱施設、特定毒物研究施設>

	毒物劇物販売業	毒物劇物業務上 取扱施設（金属め っき業・運送業）	特定毒物研究施設	合計
令和5年度	69	4	2	75
令和4年度	7	1	0	8
令和3年度	15	0	1	16

2 令和6年度の計画

【健康危機管理の取り組み】

薬局、店舗販売業者、毒物劇物販売業者、毒物劇物業務上取扱者、特定毒物研究者に対する立入検査を実施する予定である。

健康福祉局 健康危機管理課

1 令和5年度の実績（新型コロナウイルス感染症対応関係）

【健康危機管理の取組】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日に5類感染症に変更されたことに伴い、令和6年3月末までの「移行期間」において、以下の取組を実施。
 - ①限られた医療機関から、幅広い医療機関での通常対応に向け、入院調整困難事例に対して、確保病床への入院に向けた支援を実施。
 - ②高齢者施設等における感染管理や、陽性者発生時のスクリーニング検査、施設従事者への集中的検査を実施し、施設内療養体制や、医療機関との連携を強化。
- ・「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」において、新型コロナウイルス感染症への対策と対応を検証し、総括を実施。
- ・今後の新興感染症等の発生予防とまん延防止の基本方針として「熊本市感染症予防計画」を令和6年3月に策定すると共に、「熊本市感染症予防計画」の実行性を担保するための計画として「熊本市健康危機管理対処計画」を策定し、平時からの庁内や保健所内の計画的な体制整備等の具体案を示した。

2 令和6年度の計画・取組

【健康危機管理の取組】

◎健康危機管理体制整備

- ・各区に2名ずつ「健康危機担当保健師」を設置
- ・庁内において、次の新興感染症発生時の庁内招集名簿を作成

◎研修・訓練（詳細は「令和6年度健康危機管理事業計画ならびに実施状況」参照）

- ・各種研修（健康危機関係・感染症関係）の開催
- ・国等が開催する研修会への参加

◎市民や関係機関への広報等

市ホームページやSNSによる情報提供

【毒物・劇物迅速検査キット保管状況（令和7年2月現在）】

原因不明物質及び毒物・劇物を原因とする健康危機管理事例発生時の初期対応において、迅速な原因究明を図ることを目的に、環境総合センターに常備している。

検出物	ヒ素イオン	シアン化物	硝酸イオン	亜硝酸イオン	農薬	有機リン系農薬	アジ化ナトリウム
商品名	バックテスト ひ素（低濃度）セット SPK-As(D)	エムクアントシアン化物テスト	エムクアント硝酸テスト	エムクアント亜硝酸テスト	アグリステイック AS-25	有機リン系農薬検出キット	アジ化ナトリウム簡易検出キット
検出対象	ヒ素イオン	シアン化物イオン	硝酸イオン	亜硝酸イオン	グリホサート阻害反応による殺虫剤（有機リン系、カバメート系殺虫剤）	尿中の有機リン系農薬	アジ化ナトリウム
規格（箱）	20回分	100枚分	100枚分	100枚分	25テスト分	10回分	10回分
在庫数	1箱	1箱	1箱	1箱	1箱	1箱	1箱

※上記のほか、健康危機管理課は熊本市健康危機管理事務局として、健康危機管理事業の全体調整や進捗管理を行う。